

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 滝沢ハム株式会社

コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝

TEL 0282-23-5640

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,058	△1.3	17	12.8	29	360.2	44	—
23年3月期第2四半期	14,244	△5.6	15	△92.4	6	△95.9	△189	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 55百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △201百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.29	—
23年3月期第2四半期	△18.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,428	1,988	17.4
23年3月期	11,545	1,932	16.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,988百万円 23年3月期 1,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,800	0.2	100	△48.6	130	△30.3	120	—	11.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	10,510,000 株	23年3月期	10,510,000 株
24年3月期2Q	240,033 株	23年3月期	240,033 株
24年3月期2Q	10,269,967 株	23年3月期2Q	10,269,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 追加情報	9
(6) セグメント情報	9
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(8) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、原子力発電所の事故に伴う電力不足や放射性物質問題の長期化の様相の中、急激な円高や欧米の金融不安の拡大など、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の節約志向による購買意欲の冷え込みによる価格競争の激化の中、原材料及び包装資材の高騰により厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは単品量販の推進及び株式会社マルハニチロ畜産との業務提携の推進により売上高の回復に努めてまいりました。生産面では小集団活動による生産性の向上を図るとともに製造コストの削減に取り組んでまいりました。食肉部門におきましては、不採算部門の立て直しを図り食肉部門の採算改善に取り組んでまいりました。また、物流部門におきましては、物流の効率化を図るため、平成23年9月30日付で当社が保有する連結子会社株式会社泉川運輸の全株式を関東運輸株式会社に譲渡いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、食肉加工品部門の売上回復は見られたものの、放射性セシウム汚染による栃木県産牛の出荷停止や風評被害等の影響を受け、国産牛肉の売上高が大幅に落ち込んだことから、売上高は140億58百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

損益面につきましては、食肉の売上減少要因や原材料及び包装資材等の値上がりによるコスト増が重なったことにより、営業利益は17百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益は29百万円（前年同期比360.2%増）となり、前年は上回ったものの計画どおりの収益の回復にはいたりませんでした。四半期純損益については、関係会社株式売却益の計上があったことにより、四半期純利益44百万円（前年同期1億89百万円の四半期純損失）の計上となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、単品量販の推進によりソーセージ類の新商品が好調に推移しましたが、ハム類の売上が低調に推移したことからこの部門の売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は54億64百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、震災の影響により仙南工場が一時操業停止したことから、練り物商品の売上が減少しましたが、一次加工品の新商品が好調に推移したため、売上は増加いたしました。この結果、この部門の売上高は25億94百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、国産豚肉は相場回復により売上高は回復してまいりましたが、国産牛肉は放射性セシウム汚染による栃木県産牛の出荷停止や風評被害等の影響により売上が大幅に減少したことにより、この部門の売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は59億11百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、物流部門及び飲食業部門の売上高は87百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億17百万円減少し、114億28百万円となりました。これは主に、たな卸資産の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億72百万円減少し、94億40百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加はありましたが、買掛金が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、19億88百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ2億28百万円増加し15億4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、69百万円(前年同期比70.0%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、27百万円(前年同期比16.5%減)となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入がありましたが、有形固定資産の取得による支出が多かったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、1億85百万円(前年同期4億40百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表した業績予想を変更しております。詳細につきましては、平成23年11月4日付「平成24年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結会計期間におきまして、重要な子会社の異動はありませんが、従来子会社でありました株式会社泉川運輸を平成23年9月30日をもって同社の全株式を売却し、連結子会社から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,508,653	1,736,881
受取手形及び売掛金	2,709,760	2,575,241
商品及び製品	1,523,409	1,401,060
仕掛品	150,796	121,616
原材料及び貯蔵品	219,234	180,427
繰延税金資産	79,767	78,010
その他	62,083	55,209
貸倒引当金	△4,399	△4,247
流動資産合計	6,249,305	6,144,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,645,300	1,576,471
機械装置及び運搬具(純額)	228,586	225,965
土地	1,897,161	1,893,948
リース資産(純額)	382,950	433,963
その他(純額)	67,884	75,157
有形固定資産合計	4,221,884	4,205,506
無形固定資産	20,660	16,002
投資その他の資産		
投資有価証券	797,496	812,162
繰延税金資産	7,663	7,688
その他	275,727	263,876
貸倒引当金	△26,839	△20,552
投資その他の資産合計	1,054,047	1,063,174
固定資産合計	5,296,592	5,284,683
資産合計	11,545,898	11,428,883

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,637,666	2,175,059
短期借入金	3,487,878	3,839,798
リース債務	76,721	90,444
未払法人税等	8,275	18,821
賞与引当金	112,208	76,805
災害損失引当金	13,068	—
その他	667,693	718,624
流動負債合計	7,003,513	6,919,553
固定負債		
長期借入金	1,472,855	1,352,831
リース債務	330,786	372,427
退職給付引当金	645,915	633,591
役員退職慰労引当金	116,838	123,559
環境対策引当金	10,555	10,555
負ののれん	9,735	4,867
その他	22,995	22,823
固定負債合計	2,609,681	2,520,655
負債合計	9,613,194	9,440,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	685,424	685,424
利益剰余金	300,569	344,633
自己株式	△3,877	△3,877
株主資本合計	2,062,617	2,106,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△130,112	△118,007
その他の包括利益累計額合計	△130,112	△118,007
少数株主持分	199	—
純資産合計	1,932,703	1,988,673
負債純資産合計	11,545,898	11,428,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,244,203	14,058,092
売上原価	11,671,449	11,576,760
売上総利益	2,572,753	2,481,331
販売費及び一般管理費	2,557,204	2,463,786
営業利益	15,549	17,544
営業外収益		
受取利息	157	133
受取配当金	11,101	9,912
補助金収入	8,374	8,696
その他	19,154	30,394
営業外収益合計	38,788	49,137
営業外費用		
支払利息	47,682	36,677
その他	141	30
営業外費用合計	47,823	36,707
経常利益	6,513	29,974
特別利益		
固定資産売却益	4,298	—
投資有価証券売却益	14,131	—
貸倒引当金戻入額	1,905	—
関係会社株式売却益	—	33,336
特別利益合計	20,336	33,336
特別損失		
固定資産売却損	—	297
固定資産除却損	10,574	3,113
減損損失	4,752	4,796
投資有価証券評価損	90,303	—
その他	2,744	—
特別損失合計	108,374	8,206
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△81,525	55,105
法人税、住民税及び事業税	11,505	11,240
法人税等調整額	96,902	0
法人税等合計	108,407	11,240
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189,933	43,864
少数株主損失(△)	△476	△199
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△189,456	44,063

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189,933	43,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,804	12,105
その他の包括利益合計	△11,804	12,105
四半期包括利益	△201,737	55,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201,261	56,168
少数株主に係る四半期包括利益	△476	△199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△81,525	55,105
減価償却費	148,287	165,806
減損損失	4,752	4,796
引当金の増減額(△は減少)	34,928	△57,930
受取利息及び受取配当金	△11,258	△10,046
支払利息	47,682	36,677
固定資産除却損	10,574	3,113
固定資産売却損益(△は益)	△4,298	297
投資有価証券評価損益(△は益)	90,303	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,622	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△33,336
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,481	40,680
売上債権の増減額(△は増加)	107,223	132,246
たな卸資産の増減額(△は増加)	△46,436	190,336
仕入債務の増減額(△は減少)	74,352	△462,607
その他の資産の増減額(△は増加)	△9,854	22,046
その他の負債の増減額(△は減少)	24,001	34,283
その他	△15,475	△4,867
小計	316,150	116,600
利息及び配当金の受取額	11,258	10,046
利息の支払額	△45,786	△37,565
法人税等の支払額	△48,435	△19,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,188	69,989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,133	△68,708
有形固定資産の売却による収入	4,431	1,500
固定資産の除却による支出	△3,911	△1,047
無形固定資産の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の取得による支出	△3,536	△2,585
投資有価証券の売却による収入	23,037	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	44,325
貸付けによる支出	△1,650	△1,700
貸付金の回収による収入	1,860	474
定期預金の増減額(△は増加)	△89	△72
その他	661	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,328	△27,825
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△269,500	370,000
長期借入れによる収入	250,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△351,825	△188,104
長期未払金の返済による支出	△18,333	△1,201
配当金の支払額	△30,598	△37
その他	△20,150	△44,664
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440,407	185,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△240,547	228,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,357,071	1,276,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,116,524	1,504,963

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。